主催　葛飾区介護保険課

# 令和８年度第７回介護職員等レベルアップ研修開催のお知らせ

葛飾区では、介護職員の皆様に現場で役立つスキルを学んでいただくため、区内の介護サービス事業所および介護保険施設等の職員を対象としてレベルアップ研修を開催しています。

今年度も全 10 回の研修を予定しており、第７回目の研修のテーマは「“わからない”のは、実は私たち？～パーソンセンタードケアで考える認知症～」です。認知症の方の行動に、「どうして？」と戸惑うことは少なくないかと思います。本研修では、認知症の方を「その人らしい歴史や価値観を持った一人の人間」として尊重するパーソンセンタードケアの視点から、認知症の人の気持ちや背景を読み解きます。認知症の方の関わり方のヒントを身につけていく回になりますので、この機会にぜひともご参加ください。

## １　受講対象者・推薦要件

葛飾区内の介護サービス事業所、介護保険施設等に勤務する職員
（職種、常勤・非常勤問わず）

## ２　定員

３０人
※定員を超える場合は選考の上、受講を決定します。受講の可否についてはメールでお知らせします。

## ３　日時及び会場

**※会場は別紙地図参照**

| 日付 | 時間 | 会場 | 部屋 |
|---|---|---|---|
| 令和８年 12月１８日（金） | 午後１時３０分<br>～3時３０分 | 亀有地区センター | ホール |

**※受付は、午後１時 10 分からです。**

## ４　研修内容・講師

| 研修テーマ | 実施内容 | 講師 |
|---|---|---|
| “わからない”のは、実は私たち？～パーソンセンタードケアで考える認知症～ | 認知症の方の行動に、「どうして？」と戸惑う事は少なくありません。でも、その”わからない行動”は、実は私たちの見方が追いついていないだけかもしれません。パーソンセンタードケアの視点から、認知症の人の気持ちを読み解き、関わり方が少し楽になるヒントを探ります。 | 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）<br>日本メンタルヘルス協会<br>寺田　真理子　氏 |

講師の経歴詳細は「講師プロフィール」のとおり

## ５　受講料

各回　１人　６００円

※受講日当日に、受付にて集金します。お釣りのないようお願いします。

## ６　感染症予防対策と受講生へのお願い

・受講者の皆様には「咳エチケット」へのご協力をお願いします。

**【申し込み方法】**

以下の QR コードを読み込んでいただくか、又は URL から、申し込み受付フォームにて必要事項を入力し、お申し込みください。

URL：https://logoform.jp/form/Ehiz/1898389

≪申し込み期限≫　令和８年１２月１１日（金）

※申し込みの受付連絡はいたしません。ご了承ください。

※受講の可否については、メールにてお知らせします。

メールが届いていない場合は担当までご連絡ください。

**【申し込み及び問い合せ先】**

葛飾区福祉部介護保険課事業者係　　担当者：原・尾形

〒124-8555　葛飾区立石５－１３－１　　TEL 3695-1111　(内線) 2367

(直通) 5654-8251　(FAX)　5698-1504

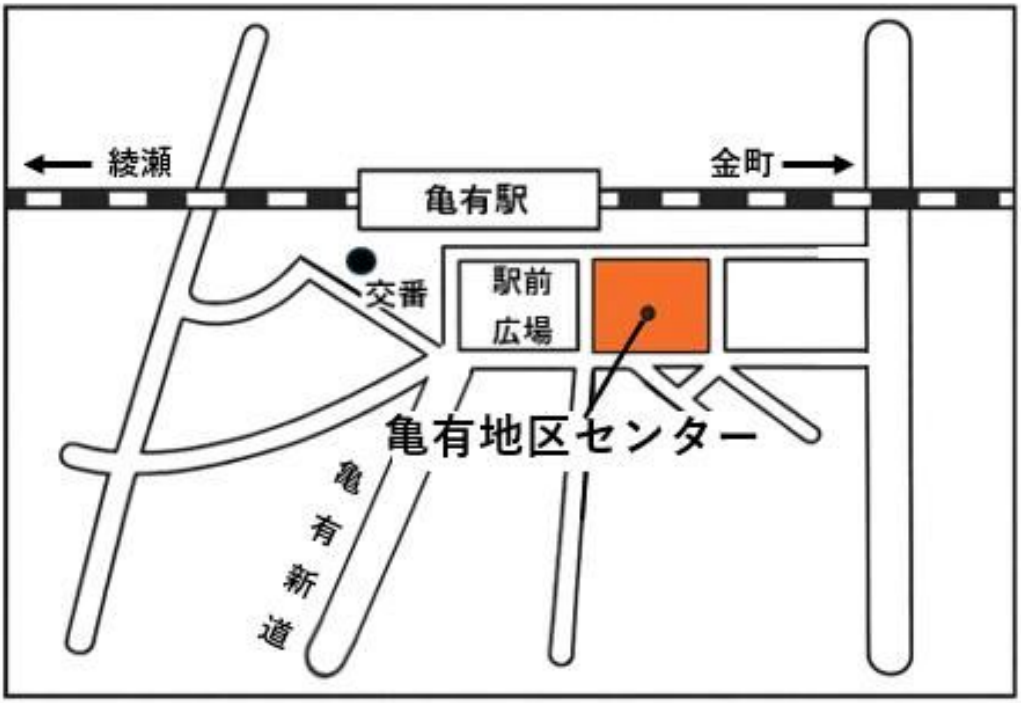
E-mail：kaigo@city.katsushika.lg.jp　(事業者係メールボックス)

【地　図】　会場周辺は駐車場が限られていますので、公共交通機関をご利用ください。

〒125-0061 東京都葛飾区亀有 3-26-1　リリオ館 7 階

JR 亀有駅前

（バイク・自動車の駐車料金は有料です）



全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）

日本メンタルヘルス協会

日本読書療法学会 会長

寺田　真理子　氏

【経歴等】

長崎県出身。幼少時から中学までを、メキシコ、コロンビア、ベネズエラと南米諸国にて過ごす。東京大学法学部卒業後、国際会議コーディネーターを経て、通翻訳者デビュー。その後、数社にてインハウス通翻訳を経験し、2004 年にフリーランス通翻訳者として独立。出版翻訳、商品ネーミングも手がける。自らのうつを読書によって克服した経験から「読書セラピー」として本からの学びを伝える。うつの体験を通して得られた認知症への共感を基に、「認知症になってもできることはまだまだある」ことを伝えるため、パーソンセンタードケアの普及と介護者の心のケアに力を入れている。

【書籍】

『心と体がラクになる読書セラピー』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）

『古典の効能』（雷鳥社）

『うつの世界にさよならする 100 冊の本』（SB クリエイティブ）

『認知症の介護のために知っておきたい大切なこと』（Bricolage）

『認知症を乗り越えて生きる』（クリエイツかもがわ）

『パーソンセンタードケアで考える認知症ケアの倫理』（クリエイツかもがわ）

『認知症と性とウェルビーイング』（Bricolage）

など多数